



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：シナイ半島での治安悪化（報道まとめ）（その2）

シナイ半島北部で、エジプト治安当局と武装勢力の衝突が継続している。エジプト軍は、7月13日ころから、本格的な掃討作戦を開始している模様である。7月12日には、エジプト軍のヘリコプターが短時間であるが、ガザ領空内に侵入した。こうした領空侵犯ははじめてであるが、イスラエルとエジプトは、航行ミスだとしている。同軍ヘリは、13日にアリーシュで、武装勢力に対する銃撃を行ったと報道されている。エジプト治安部隊の攻撃は強化されているようであるが、武装勢力による一般車両や治安部隊やその施設に対する攻撃は続いている。7月15日、イスラエルは、エジプト軍がシナイ半島に歩兵部隊2旅団を派遣することを承諾した。同部隊は、ラファ（ラファハ）、アリーシュなどに配置されると報道されている。

シナイ半島でのエジプト軍の作戦に伴い、エジプトはガザのラファにある境界事務所を閉鎖している。エジプト当局は、7月5日からラファ境界を閉鎖した。7月10日からは、短時間に限り同境界を開くとされたが、13日からは無期限閉鎖になったと報道されている。エジプト軍は6月下旬からガザとの境界付近の警備を強化し、ガザへの燃料密輸を阻止しているようだ。7月13日、エジプト軍は施設攻撃や天然ガス・パイプライン攻撃に関係した容疑でパレスチナ人4人を逮捕している。7月15日、エジプト治安筋は、ガザにある地下トンネルの9割は破壊したと述べている。ガザのハマース側は否定しているが、エジプト軍は、シナイ半島の治安悪化とガザのハマースが関係していると見ているようだ。

（中島主席研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799